

待ちである。

2. 実施報告書の修正（資料1）

委員会で審査する際において、利益相反に対する認識が実施施設の間で齟齬があり、また、実施施設における利益相反の考え方とガイドラインにおける「利益相反状態の報告」の内容が必ずしも一致していないこともあるため、報告者に混乱を招いていた。このことについて持ち回り委員会を行った結果、実施報告書の「利益相反委員会への申請の有無」の項目を削除することとなった。修正された実施報告書は平成27年12月11日付けでホームページにアップ済みである。

3. 利益相反マネジメントの解説（資料2）

実施報告書の修正と同じ理由により、利益相反マネジメントを分かり易く説明した『「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」における利益相反マネジメントの解説』を七戸委員に作成いただいた。この解説ファイルは平成27年12月11日付けでホームページにアップ済みである。

4. 承認研修一覧（資料3）

ガイドラインのプレスリリース時に公開するとしていた承認研修一覧を平成27年12月11日付けでホームページにアップした。

5. CST ガイドライン委員会委員の追加

現在、CST ガイドライン委員会は外科、解剖学、整形外科、および脳神経外科の各領域の委員から構成されているが、耳鼻咽喉科と歯科の領域もサージカルトレーニングに深く関与していることから、この2つの領域からも本委員会に参加いただくことになり、日本耳鼻咽喉科学会から高橋晴雄主任教授（長崎大学 歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野）、日本口腔外科学会から柴田孝典教授（北海道医療大学 歯学部 生体機能・病態学系組織再建口腔外科学分野）を推薦いただいた。平成27年度第7回理事会にて承認済みである。

6. 平成28年度厚生労働科学研究費

厚生労働省担当官の海老名氏から平成28年度厚生労働科学研究費を配分できるので、CST ガイドライン委員会として研究班を組織してほしいとの要望を受けた。研究班の目的については、「CST トレーニングの定着を目指し外部資金導入の検討と指針作成」「海外でのCST トレーニング実績の確認」「ガイドラインの見直し改定」「CST トレーニングを3年間実施してきた改善点の検討」というものであり、研究費は単年度で90万円であった。検討した結果、近藤委員長が研究代表者として引き受けることになった。また、以前の研究班では、七戸委員が実務を担当されていたため、近藤委員長の推薦により、今回も七戸委員に実務を担当いただき、厚生労働省からの計画書フォーマットを使用して、案をまとめて1月29日に厚生労働省に提出した。

(資料1)

臨床医学の教育及び研究における死体解剖 死体による手術手技研修等の実施報告書

大学名・学部名 _____
 専門委員会名及び代表者名 _____ 代表者 _____
 報告者氏名 _____ ㊟ 報告者所属・役職 _____

実施代表者 (臨床講座)	氏名 講座名及び役職		
指導監督者 (解剖講座)	氏名 講座名及び役職		
研修等の名称	※セミナー等の概要を記したパンフレット・テキスト等のコピーも提出すること		
目的	1. 教育 <ul style="list-style-type: none"> a. 基本的な医療技術の習得 b. 基本的な手術手技、標準手術の習得 c. 高度な技術を要する手術手技の習得 2. 研究 <ul style="list-style-type: none"> a. 手術手技に関連する臨床解剖の研究 b. 新規の手術手技の研究開発 c. 医療機器等の研究開発 		
実施日、期間、実施場所	年 月 日～ 年 月 日 実施時間 (: ~ :) 実施場所 ()		
実施回数と実施形態	計 回	1. 定期開催 2. 不定期	
参加人数と公募の有無、 学内・学外の別	合計 人	※医師・歯科医師のみ 公募 1. 有 2. 無	
	学内医師・歯科医師 人	関連施設 人	学外(公募) 人
見学者(医師・歯科医師以外、 人的支援を含む)の内訳	合計 人	※医師・歯科医師以外の者が死体による手術手技研修等を実施することは認められない	
	参加数	見学者の役割 見学目的	
	学生 人 () ()		
	コメディカル 人 () ()		
	業者等 人 () ()		
ご遺体の数、固定方法	体	1. 固定(ホルマリン) 2. 未固定 3. その他()	
解剖部位	1. 頭部 2. 頸部 3. 胸部 4. 腹部 5. 上肢 6. 下肢		
倫理委員会※への申請	課題名() 学内審査番号() ※倫理委員会への申請書と承認通知書のコピーを提出すること		
経費と利益相反状態	費用総額 円	参加者負担 1、有 2、無	
	(参加者負担有りの場合の負担額: 円)		
	大学からの補助 1、有 2、無	企業の援助 1、有 2、無	
	その他の補助・援助 1、有 2、無		
	利益相反状態※の有無 1、有 2、無		
※研究代表者あるいは指導監督者が、当該セミナー・研修などに直接関与する企業などからの研究費などとしての寄付が年間100万円を超える場合は、利益相反に関する報告書に「研究費」「講演料など」「原稿料など」「特許使用料」「株」「役員・顧問職」「顧問料・謝礼など」の利益相反状態を詳記すること			
ホームページ等への公開	1. 有 (URL) 2. 無		

実施報告書1/2

研修等の詳細

目的の詳細	
実施内容の詳細	
有用性の報告	
実施場所の詳細 (解剖学実習室の設備や 機器等を記載すること)	

実施報告書2/2

更新日: 2015/12/11

臨床医学の教育及び研究における死体解剖 遺体による手術手技研修等の経理報告書

大学名・学部名 _____

報告者氏名 _____

⑩ 報告者所属・役職 _____

研修等の経費と利益相反状態の詳細(必須)

費用総額	円		
	事項	金額(円)	詳細
収入	参加費		
	大学からの補助		
	科研費等の公的資金		
	学会等からの助成金		
	NPO法人等からの助成金		
	企業寄付等		
	その他		
支出	機器購入等		
	消耗品購入等		
	印刷費等		
	学内の負担金等		
	講師謝金等		
	人件費等		
	事務費等		
	繰越金等		
	その他		

臨床医学の教育及び研究における死体解剖 遺体による手術手技研修等の利益相反に関する報告書

大学名・学部名 _____

報告者氏名 _____

㊦ 報告者所属・役職 _____

利益相反状態の詳細

1. 当該セミナー・研修に対して、金額の多寡は問わず企業などからの直接資金援助がある場合
2. 当該セミナー・研修に対して、企業などから機器、薬品や労務提供などを受けた場合は、下記欄に記入すること。

	事項	企業等名	金額・機器・薬品・その他
当該の研修等に対して支払われた研究費及び機器、薬品類などの提供・貸与、人的な支援の有無と詳細	研究費 有・無		(円)
	機器類 有・無		(品名・数量)
	その他 (研究員・技術スタッフ派遣など) 有・無		※

※業務内容、人数、期間等を記入すること

3. 研究代表者あるいは指導監督者が、当該セミナー・研修などに直接関与する企業などからの研究費などとしての寄付が年間100万円を超える場合は、下記欄にも記入すること。

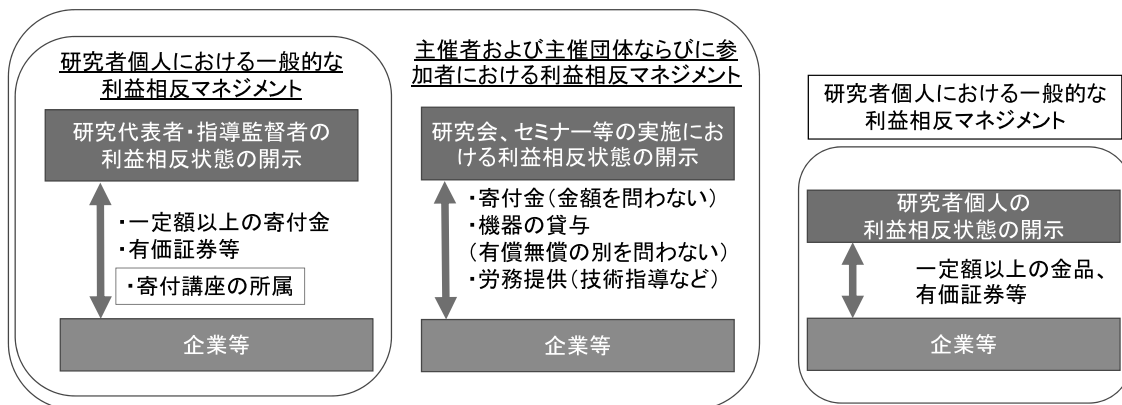
	該当の有無	該当のある場合、企業名等	金額
研究費	有・無		円
講演料など	有・無		円
原稿料など	有・無		円
特許使用料	有・無		円
株	有・無		円
役員・顧問職	有・無		円
顧問料・謝礼など	有・無		円

(資料2)

「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」 における利益相反マネジメントの解説

「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」 における利益相反マネジメント

高い透明性を保つために、より広く利益相反状態を開示する



「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」 における利益相反マネジメント

篤志による献体制度の堅持のために、研究代表者・指導監督者の個人における一般的な利益相反状態の開示に加えて、遺体を使用した教育・研究のそれぞれの事案について、主催者および主催団体ならびに参加者における潜在し得る利益相反状態をその形態に関わらず、日本外科学会CSTガイドライン委員会に報告することとしています

「遺体による手術手技研修等の利益相反に関する報告書」には下記の二点について記載してください

研究会、セミナー等の実施における利益相反状態の開示

- 研究会、セミナー等の実施に際して企業からの寄付や医療機器等の使用や労務提供がある場合には、無償、有償の別、金額の多寡、提供を受けた労務の内容を問わず「利益相反状態」は「あり」とし、概要を記載する

研究代表者・指導監督者の利益相反状態の開示

- 「日本医学会 医学研究のCOIマネジメントに関するガイドライン」(日本医学会)などのCOIマネジメントのガイドラインに沿い、利益相反状態を開示する
- 実施代表者・指導監督者が寄付講座等に所属する医師で、実施する手術手技研修等が寄付企業と利益相反状態にある場合には明記する

(資料3)

日本外科学会CSTガイドライン委員会で承認された研修一覧(2015.12.11現在)

学年	大学名・学研名	研修名	開催日と期間	使用された人体の量
平成25年	千葉大学大学院医学研究院	CAを用いた脳神経ドーム-筋腫切除およびシビエントへの筋腫縮小手術の習得	2012/12/29	2
	千葉大学大学院医学研究院	口腔外科領域の手術における顕微鏡および皮弁再建術に必要な解剖教育と手術手の取得	2013/1/18	2
	千葉大学大学院医学研究院	経膈神経腫瘍手術における顕微鏡手術	2013/2/29-2013/3/3	2
	札幌医科大学医学部	AOTrauma Hand and Wrist Course with Cadaveric Workshop	2013/11/24	5
	札幌医科大学医学部	第1回 日本手外科学会カダバーワークショップ	2012/12/1-2012/12/2	5
	札幌医科大学医学部	第1回 北海道研究会手術セミナー	2012/12/9	5
	札幌医科大学医学部	第1回 The固定法遗体を用いた腕関節下鼠径ヘルニア手術セミナー	2013/2/17	5
	愛媛大学・医学部	Cadaver Surgical Training	2012/8/22-2013/3/27	5
	愛媛大学・医学部	愛媛神経腫瘍小解剖セミナー	2012/9/22-2012/9/23	7
	愛媛大学・医学部	第1回顕微鏡脳腫瘍解剖セミナー	2012/9/24-2013/9/30	5
	愛媛大学・医学部	第2回顕微鏡脳腫瘍解剖セミナー	2012/9/29	6
	愛媛大学・医学部	脳腫瘍解剖実習	2012/10/1-2012/10/2	5
	愛媛大学・医学部	顕微鏡および固定手術のための脚遗体を用いた手術手技研修	2012/10/17-2012/11/11	3
	愛媛大学・医学部	脳神経生体の手術手技研修のための事前調査	2012/12/15	1
	愛媛大学・医学部	脚遗体を用いた胸部手術手技研修	2012/12/16	1
	愛媛大学・医学部	西四国大学口腔外科 第1回Cadaver training 研修会	2013/2/3	6
	東京医科大学 救急・災害医学講座、人体構造学講座	厚生省委託事業「平成24年度実践的な手術手技向上研修事業」東京医科大学「脚体による外傷手術臨床解剖学的研究会」	2013/1/12-2013/3/6	15
	千葉大学大学院医学研究院	脳腫瘍手術における手技教育	2013/2/24	2
	千葉大学大学院医学研究院	手外科医のための基本手技教育	2013/3/9	2
	千葉大学大学院医学研究院	救命のための緊急処置手技教育	2013/3/31	1
	東北大学・大学院医学系研究科	手術手技研修-顕微鏡手術などの最先端手術手技の習得-	2013/2/9-2013/3/28	3
	東北大学・大学院医学系研究科	脳神経外科-手術手技および解剖学的知識習得	2013/3/9-2013/3/10	2
	岡山大学大学院医学系総合研究科	顕微鏡下大腸切除術に必要な解剖と実習(回盲部切除およびS状結腸切除)	2012/12/1	3
	岡山大学大学院医学系総合研究科	呼吸器外科手術に必要な臨床解剖実習	2012/12/8	4
	岡山大学大学院医学系総合研究科	研修医のための整形外科解剖実習	2012/12/9	4
岡山大学大学院医学系総合研究科	岡山大学 臨床解剖実習セミナー インフラットの外科手術	2012/12/9	3	
岡山大学大学院医学系総合研究科	第1回岡山耳鼻咽喉・頭頸部外科解剖研究会	2013/3/9-2013/3/10	8	
岡山大学大学院医学系総合研究科	エコーガイド下神経ブロック-上肢下肢の解剖実習と実技-	2013/3/16	3	
愛知医科大学神経外科	第13回認知症関連症候群手術ワークショップ	2013/7/11-2013/7/14	9	
札幌医科大学医学部	AOTrauma Pelvic Course-Cadaver Workshop(AOTrauma Course Pelvis and Acetabulum with Anatomical Specimens)(2013.9.27-27)ワークショップ(2泊3日)	2013/9/27	6	
札幌医科大学医学部	第1回日本神経学会カダバーワークショップ	2013/10/5-2013/10/6	5	
札幌医科大学医学部	整形外科卒業研修ワークショップレクチャー	2013/10/26-2014/1/26	5	
札幌医科大学医学部	The固定法遗体を用いたTVM手術手技の検討会	2013/12/8	5	
札幌医科大学医学部	第1回The固定法遗体を用いた腕関節下鼠径ヘルニア手術セミナー	2014/2/8	5	
札幌医科大学医学部	第2回The固定法遗体を用いた腕関節下鼠径ヘルニア手術セミナー	2014/2/9	5	
札幌医科大学医学部	第3回The固定法遗体による脳神経ワークショップ	2014/2/22-2014/2/23	19	
東京医科大学 救急・災害医学分野、人体構造学分野	厚生省委託事業「平成25年度実践的な手術手技向上研修事業」東京医科大学「脚体による外傷手術臨床解剖学的研究会」	2013/11/13-2014/3/12	31	
東北大学大学院 医学系研究科	手術手技研修-脚体を利用した脳神経外科手術手技研修 脳小解剖習熟	2014/1/31-2014/2/2	2	
東北大学大学院 医学系研究科	遺体を用いた手術手技研修	2014/2/10-2014/2/14	6	
東北大学大学院 医学系研究科	脚遗体を使用した顕微鏡脳腫瘍(CMP・Cranio-Maxillo-Facial)外科手技及び遊離皮弁挙上手術に関する臨床医学教育	2014/2/19-2014/2/17	4	
東北大学大学院 医学系研究科	脚体を利用した顕微鏡骨手術、鼻副鼻腔内視鏡手術、音声低下手術、顕微鏡手術、顕微鏡外科手術の手術手技研修	2014/2/27-2014/2/28	3	
東北大学大学院 医学系研究科	手首関節鏡手術における神経機能温存術式、腱式手術における技術研修	2014/3/3-2014/3/4	4	
千葉大学大学院医学研究院	中脳蓋成形術に対する上頸骨骨切り手術における総合併成の原因解明及び安全な手術術式の確立	2011/5/9-2013/3/8	13	
千葉大学大学院医学研究院	足関節脱臼の適切な治療に対する皮膚厚薄度変化による再発に関する解剖学的研究	2011/7/12-2013/7/11	11	
千葉大学大学院医学研究院	大腸癌術後の皮膚厚薄度変化による再発に関する筋内血行動態に関する解剖学的研究	2012/12/14-2014/2	15	
千葉大学大学院医学研究院	顕微鏡手術および口腔鏡切除後の軟組織再建術の手術教育	2013/4/19	1	
千葉大学大学院医学研究院	安全な口腔癌手術、顕微鏡手術の手技教育	2013/5/10	1	
千葉大学大学院医学研究院	CAを用いた脳神経ドーム-筋腫切除およびシビエントへの筋腫縮小手術の習得	2013/7/13	2	
千葉大学大学院医学研究院	救命のための緊急処置手技教育	2013/7/21-2013/8/3	3	
千葉大学大学院医学研究院	第1回人工関節置換術手術ワークショップ	2013/11/1	1	
千葉大学大学院医学研究院	千葉手-足の外科研究会Cadaver Workshop2013	2013/11/3-2013/11/3	2	
千葉大学大学院医学研究院	千葉大学骨格外科手術セミナー	2013/11/17	2	
千葉大学大学院医学研究院	第1回千葉神経内視鏡ハンズオンセミナー	2013/12/14-2013/12/15	6	
千葉大学大学院医学研究院	平成25年度第2回脚体を用いた筋腫シミュレーション	2014/1/13	2	
千葉大学大学院医学研究院	中脳蓋・後頭蓋窓および顕微鏡骨手術の顕微鏡手術到達法	2014/1/25-2014/1/26	2	
千葉大学大学院医学研究院	口腔鏡顕微鏡領域の疾患に対する手術手技教育	2014/1/31-2014/3/14	3	
千葉大学大学院医学研究院	手外科手術手技研修セミナー	2014/3/2	2	
千葉大学大学院医学研究院	第1回顕微鏡手術セミナー 鼻副鼻腔鏡	2014/3/22-2014/3/23	2	
千葉大学大学院医学研究院	千葉大学骨格外科手術セミナー-BKP編	2014/3/30	2	
平成26年	横浜市立大学医学部 脳神経外科	顕微鏡特別解剖講習	2014/8/22-2014/8/24	4
	横浜市立大学医学部 生体制御・麻酔科学講座	臨床麻酔科学のための局所解剖講習	2015/8/23-24	4
	岡山大学医学部	岡山脳神経腫瘍小解剖セミナー	2013/1/25-2014/1/26	2
	岡山大学大学院医学系総合研究科	岡山大学 臨床解剖実習セミナー インフラットの外科手術	2013/12/14	3
	岡山大学大学院医学系総合研究科	脳腫瘍解剖実習セミナー	2014/3/1-2014/3/2	3
	岡山大学大学院医学系総合研究科	口腔鏡顕微鏡領域における臨床解剖ワークショップ	2014/3/8	4
	岡山大学大学院医学系総合研究科	整形外科解剖実習	2014/3/9	3
	岡山大学大学院医学系総合研究科	仙骨硬膜外ブロックと解剖ベージック&アドバンスド	2014/3/14	2
	岡山大学大学院医学系総合研究科	神経ブロックのための3D解剖学講座	2014/3/15-2014/3/16	6
	岡山大学大学院医学系総合研究科	第1回岡山耳鼻咽喉・頭頸部外科解剖研究会	2014/3/22-2014/3/23	6
	岡山大学大学院医学系総合研究科	岡山脳神経腫瘍小解剖セミナー	2014/12/13-2014/12/14	2
	岡山大学大学院医学系総合研究科	岡山大学 臨床解剖実習セミナー インフラットの外科手術	2014/12/21	4
	岡山大学大学院医学系総合研究科	口腔鏡顕微鏡領域における臨床解剖ワークショップ	2015/2/22	2
	岡山大学大学院医学系総合研究科	整形外科解剖実習	2015/3/8	7
	岡山大学大学院医学系総合研究科	脳腫瘍解剖実習セミナー	2015/3/14-2015/3/15	6
	岡山大学大学院医学系総合研究科	神経ブロックのための3D解剖学講座	2015/3/17-2015/3/22	9
	岡山大学大学院医学系総合研究科	第13回岡山耳鼻咽喉・頭頸部外科解剖研究会	2015/3/28-2015/3/29	11
	東京医科大学 救急・災害医学分野、人体構造学分野	厚生省委託事業「26年度実践的な手術手技向上研修事業」東京医科大学「脚体による外傷手術臨床解剖学的研究会」	2014/7/23-2015/3/11	16
	愛知医科大学神経外科	第13回認知症関連症候群手術ワークショップ	2014/7/11-2014/7/10	9
	徳島大学病院	固定法遗体を用いた人工関節置換術における軟部バリエーション研究	2014/11/16-2014/11/26	2
	徳島大学病院	固定法遗体を用いた骨盤および腸閉塞の血管、神経支配研究	2014/11/13-2015/3/11	4
	徳島大学病院	固定法遗体を用いた顕微鏡手術の教育プログラム-顕微鏡手術の習得およびシミュレーション-	2014/11/13-2014/12/11	2
	徳島大学病院	固定法遗体を用いた経皮的内視鏡下顕微鏡ヘルニア摘出術(PED:percutaneous endoscopic discectomy)の研究	2014/11/26-2015/3/11	3
	徳島大学病院	固定法遗体を用いた骨盤および骨髄内骨の血管研究	2015/1/12-2015/3/11	3
	徳島大学病院	固定法遗体を用いた骨盤生体力学研究	2015/1/12-2015/3/11	3
徳島大学病院	固定法遗体を用いた上肢スポーツ障害の病理解剖	2015/2/6-2015/3/11	4	
東京医科大学 麻酔科学分野、人体構造学分野	第1回脚体による神経ブロックの臨床解剖学的研究会	2015/1/31	2	
徳島医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	第1回徳島大鼻内視鏡手術研修会	2014/11/28-2014/12/1	10	
徳島医科大学 総合病院外科	新たな内視鏡下腹腔内手術の開発	2014/12/3	1	
徳島医科大学 医学部	徳島大骨格外科カダバーセミナー-2015	2015/1/24-2015/1/25	6	
徳島医科大学 総合病院整形外科	第13回脳神経解剖セミナー	2015/1/10-2015/1/11	8	
徳島医科大学 日光医療センター 整形外科	新開発連続培養用プレートの新開発体における手術手技検証実験	2015/2/2	2	

18. 定款委員会

委員長 松 居 喜 郎

理事会からの諮問を受け、定款施行細則および施行規定ならびに委員会内規の変更・新設案(32～37頁)を作成し答申したところ、決議された。そこで、社員総会にも上程するので、決議をお願いしたい。

19. 財務委員会

委員長 渡 邊 聡 明

1. 平成 27 年度財務諸表を作成し、独立監査人である新日本有限責任監査法人と本会監事の監査を経て理事会に答申したところ、答申どおりに決議されたので、定時社員総会に上程する(資料別添)。
2. 平成 27 年度公益目的支出計画実施報告書を作成、平成 28 年度第 1 回理事会に答申したところ、答申どおりに決議された。
3. 平成 28 年度予算を作成し、平成 27 年度第 7 回理事会に答申したところ、答申どおりに決議されたので、平成 28 年 2 月 1 日からその予算に沿って業務を執行している(資料別添)。
4. マイナンバー制度施行に伴い、講演料や執筆料などの諸謝金に伴う税申告にマイナンバーの提出が求められることになるので、セキュリティ上、該当者のマイナンバー収集・管理作業を専門業者に委託する方針を採ることとした。総務委員長と協議し、見積額やサービス内容などを比較した上で、マイナンバー収集・管理作業の担当者としてピー・シー・エー社を選定した。

20. 情報・広報委員会

委員長 田 口 智 章

1. 会員向けオンラインサービスについて

現在、会員向けオンラインサービスの登録者数は約 32,000 名である。

会員情報検索・修正システム、外科専門医システム、学術集会参加履歴登録システム、各種申請システムなどを運用・管理している。

本年度は新規入会申し込みシステムに医師免許証の添付を追加するため、指導医申請システムを NCD 連携に対応するためのシステム修正等を行った。

次年度は、日本外科学会雑誌の配本が希望性になることによる既存システムの修正、専門研修プログラムの運用のため NCD と連携するシステムの構築をする予定である。

2. メールマガジンについて

メールマガジンの発行を引き続き毎月 1 回、継続的に行なっている。メールには雑誌目次・学術集会情報・学会関係の各種お知らせなどを掲載している。現在、メールアドレスを登録されている約 35,000 名の会員に配信している。

21. NCD 連絡委員会

委員長 森 正 樹

平成 27 年 11 月 10 日に委員会を開催し、NCD の活動状況を確認した他に、主に以下の 2 点について対応した。

- 1) NCD の運営委員会で「NCD データを利用した複数領域で行う研究の場合は、日本外科学会が各学会への連絡業務を行う。研究内容を審査した学会（主任研究者が所属する学会）は、関連学会での調整を日本外科学会に依頼する」旨が合意されたことを受けて、本会での審査窓口は、臨床研究推進委員会に各領域の学会と NCD の代表者が加わった拡大的な組織（仮称：外科関連 NCD 臨床研究推進委員会）が務めることとし、その審査結果を各領域の学会に持ち帰って検討してもらい、2 か月以内を目途に回答してもらう方針を採ることとした。（→詳細は臨床研究推進委員会に申し送り）
- 2) 平成 28 年 1 月 1 日付で NCD 術式の改定が行われたので、従来どおり専門医制度委員会に「外科専門医修練カリキュラム」との紐付け作業を依頼した。

1) 一般社団法人 National Clinical Database (NCD)

代表理事 岩 中 督

National Clinical Database（以下 NCD）は、2010 年に設立され、2011 年 1 月の症例から登録を開始、2015 年分のデータを本年 4 月 11 日で締め切ったところである。事業を開始して 5 年が経過し、2015 年度より、登録を行っている施設会員から会費の支払いをお願いしている。

登録された症例数は、2011 年 1,172,579 件、2012 年 1,278,839 件、2013 年 1,566,933 件、2014 年 1,625,982 件、合計 5,644,333 件であり、2016 年 2 月時点で過去に完了承認済みを 1 件以上登録した施設診療科数は、4,120 施設・6,891 診療科であり、総ユーザー数は 30,391 人であった。

平成 27 年度事業報告、平成 27 年度実施のプロジェクト一覧、平成 27 年度決算報告、平成 28 年度事業計画については、次頁以降を参照のこと。

一般社団法人 National Clinical Database
2014-2015 年度事業報告書

National Clinical Database（以下 **NCD**）は臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行う。その結果を以て一般市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的とする。本年度は、主として以下の社会事業を実施した。

（1）医療情報を集積したデータベースの維持管理及び提供について

総合的案内

- **NCD** 症例登録システムの入力仕様の要望を各学会より受け付け、その改訂を行った。
- オープンソース活用による運用コストの低減、そして症例登録システムの再構築を実施した。

各論的案内

- 日本脳神経外科学会の参画に伴い、同学会用の症例登録システム機能の開発を行った（厚生労働省：医療施設運営費補助金「臨床効果データベース整備事業」の一環）。
- **NCD** 登録症例データを利用した集計・分析結果を確認できるフィードバック機能の開発を行った。
 - **Risk Calculator**： **NCD** 症例登録画面に術前情報等が入力された時点で、登録データに基づいて構築されたリスクモデルを用いて、術後死亡や合併症発症の予測率を表示する。
 - **Performance** 指標： 患者背景や術後死亡・合併症発症の発生率について、全国値と自施設診療科を比較する。患者の術前リスクに関する項目の集計結果および登録データに基づいて推定された自施設診療科のパフォーマンス（死亡率、合併症発症率等）が確認できる。
 - 手術件数： 術式ごとに手術件数を確認する。当該術式の手術件数について、全国件数における自施設診療科の位置（手術件数）を確認することができる。
- 従来より会員の先生方より要望の高かった症例アップロード機能の開発ならびに利用可能性の検証を行った。